



報道発表資料の配付日時 10月6日(木) 15時30分

発表項目 (行事名)	石狩の「食」を繋ぐ次世代サポーターづくり事業の実施について (第5回目)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>この度、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ石狩産の農畜産物の知名度向上や消費拡大を目的に、ポストコロナを見据えた対策として、シェフや飲食店勤務を志す「次世代を担う若者」に対して、地産地消の重要性や農畜産物等の特徴を伝え、将来的な石狩地域の農畜産物等の知名度向上や消費拡大を目的とした食育授業を行います。</p> <p>1 日時 令和4年(2022年)10月11日(火) 10:00～16:40</p> <p>2 場所 新篠津村 (1) 試食会：新篠津村保健センター (2) 農作業体験：JA新しのみつ試験水田</p> <p>3 内容 授業の最終回となり、収穫期を迎えた水稻の収穫作業を体験し、水稻栽培を学ぶとともに、5月から実施している食育授業にご協力いただいた生産者の方々を対象として、学生が石狩地域の農畜産物等を使った料理を提案します。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	当日の積極的な取材をお願いします。 取材に当たっては、新型コロナウイルス感染防止のため、「北海道スタイル」の取組についてご協力いただきますようお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		「道政記者クラブ」

担当 (連絡先)	石狩振興局産業振興部農務課(担当者：小塚、井筒) TEL ダイヤルイン 011-204-5844 内線 34-711		
-------------	--	--	--

石狩の「食」を繋ぐ次世代サポーターづくり開催要領

1 事業目的

新型コロナウイルス感染症のまん延は、農畜産物等の消費減退や労働力の不足など、石狩の農業に多大な影響を及ぼしており、今なお続く感染拡大は、消費者の意識を大きく変化させ、家庭で食事を済ます「おうちごはん」や非接触型のインターネットによる食材購買、店舗におけるテイクアウト、宅配サービスの活用など新たなライフスタイルが定着しつつある。

このことから、ポストコロナを見据えた知名度向上や消費拡大対策が必要となるため、シェフや飲食店勤務を志す「次世代を担う若者」に対して、地産地消の重要性や農畜産物等の特徴を伝え、将来的な石狩地域の農畜産物等の知名度向上や消費拡大を目的とした事業を実施する。

2 主催

北海道石狩振興局（農務課・農業改良普及センター）

3 協力

札幌ベルエポック製菓調理ウェディング専門学校

4 参加者

札幌ベルエポック製菓調理ウェディング専門学校生（42名）

5 実施内容

石狩管内の農畜産物等に触れる機会（作業体験・生産者との交流）や学習の場を設けることで、石狩の農業や地場産食材への理解醸成を図り、将来、シェフや飲食店勤務を目指す若者に対して、農業について学習する機会を作る。

6 年間計画

実施回数	実施時期	実施場所	概要
第1回目	5月19日	石狩市	生産ほ場での農作業体験等
第2回目	6月23日	札幌市	学校内での専門家による特別実習
第3回目	7月20日	札幌市	生産ほ場での管理・収穫体験等
第4回目	9月29日	当別町	生産ほ場での収穫体験等
第5回目	10月11日	新篠津村	農作業体験ほか総合な調理実習

石狩の「食」を繋ぐ次世代サポーターづくり

(第5回 試食会及び生産ほ場での収穫体験等)

○日時及び内容

(1) 日時 令和4年(2022年)10月11日(火)

(2) 内容

学 校	9:00 発	○札幌ベルエポック製菓調理ウェディング 専門学校 (札幌市中央区北1条西9丁目)	
↓			
新篠津村 保健センター (石狩郡新篠津村 第47線)	10:00 着	■調理実習	
		■試食会開催 12:30~13:30	生産者、農業協同組合等 に対して料理を提案
↓			
農作業体験 (石狩郡新篠津村 第47線北1202)	15:00 着	○食育授業 ■水稻の収穫作業体験	<説明者> JA 新しのつ青年部長 南部 貴昭 新篠津村産業建設課 課長 金兵 真人
	16:00 発		
↓			
直売所視察 (しんしのつ産直市場) (石狩郡新篠津村 第45線北2)	16:05 着	○6次化・地産地消学習 ■地場産の農畜産物等の紹介や地 産地消の取組を学習	<説明者> JA 新しのつ直販課 課長 伊達 和哉
	16:40 発		
↓			
学 校	17:40 着		

※ 時間帯は変更が生ずる場合があります。